

令和4年度各会計予算案の大綱



次に、令和4年度各会計予算案の大綱について、ご説明申し上げます。

令和4年度の予算編成は、「滝川市第2期財政健全化計画」の3年目の予算となり、事務事業見直しを進めつつ、新たな課題の対応と将来に向けた投資を図るなど、市民が安心して暮らせるまちづくりを目指した予算となるよう編成したものです。

令和元年度に策定した、「滝川市第2期財政健全化計画」及び「滝川市立病院経営改善計画」の着実な取り組みにより直面する課題に向き合い、将来への改善策を制度設計するとともに、総合計画の7つの柱に基づき、予算を計上しました。

この結果、

一般会計	212億	1,900万円
特別会計	96億	2,607万円
下水道事業会計支出	24億	91万円
病院事業会計支出	79億	759万円

となり、各会計の歳出総額は411億5,357万円で、令和3年度当初予算と比較して、0.5%の増、金額では1億9,169万円の増となりました。

次に、会計別の概要を申し上げます。

一般会計におきましては、前年度に対して2億6,100万円増となる予算としましたが、地域経済の活性化を図るため、道路新設改良事業や緊急浚渫推進事業などの実施、滝の川公園テニスコート改修工事や老朽化した公共施設の改修などの実施のほか、ふるさと納税による寄付金額の予算増に伴う関連経費の増により、

予算額 212億1,900万円で、前年度比1.2%の増となっています。

性質別にみますと、

人件費については、会計年度任用職員の昇級などの増により、

予算額 33億7,526万円で、前年度比0.2%の増

物件費は、ふるさと納税経費の増などにより、

予算額 27億2,769万円で、前年度比6.6%の増

扶助費は、生活保護費の減などにより、

予算額 36億2,437万円で、前年度比1.1%の減

建設事業費は、老朽化した公共施設の改修工事などの増により、

予算額 8億2,748万円で、前年度比11.4%の増

公債費は、計画的な借り入れの成果などにより、

予算額 15億8,982万円で、前年度比3.0%の減となっています。

次に、国民健康保険特別会計におきましては、保険給付費の減などにより、

予算額 44億9,403万円で、前年度比0.7%の減

公営住宅事業特別会計におきましては、委託料の増などにより、

予算額 4億4,115万円で、前年度比2.9%の増

介護保険特別会計におきましては、

保険事業勘定は、保険給付費の減などにより、

予算額 39億142万円で、前年度比0.9%の減

介護サービス事業勘定は、介護予防支援事業費の増などにより、

予算額 7,381万円で、前年度比1.8%の増

介護保険特別会計総体では、

予算額 39億7,523万円で、前年度比0.9%の減

後期高齢者医療特別会計におきましては、後期高齢者医療広域連合納付金の増などにより、

予算額 7億1,567万円で、前年度比7.8%の増

土地区画整理事業特別会計におきましては、事業終了に伴う特別会計の廃止により、皆減

下水道事業会計におきましては、工事請負費の減などにより、

支出額 24億91万円で、前年度比5.2%の減

病院事業会計におきましては、医業費用の増などにより、

支出額 79億759万円で、前年度比1.2%の増となりました。

次に、普通建設事業費の全体予算について、各会計毎にご説明申し上げます。

一般会計では、

道路新設改良事業費 3億4,140万円

滝の川公園テニスコート改修工事 1億1,540万円

市役所庁舎エレベーター改修工事 9,350万円

滝川西高等学校体育館改修工事 5,864万円

などを含め、総額で 8億2,748万円

公営住宅事業特別会計では、 4,810万円

下水道事業会計では、 4億2,016万円

全体で前年度比7.8%減の 12億9,574万円 を計上しました。

引き続き、施策の主なものについて、ご説明申し上げます。

はじめに、「元気な産業と活力あるまちづくり」についてです。

持続可能な農業のための生産基盤・体制の確立については、

農業生産基盤や基幹農業水利施設の整備のため、

道営土地改良事業負担金 750万円

道営土地改良事業計画樹立事業負担金 27万円

農地・水路・農道などの地域資源の適切な保全管理を行う地域組織の活動を支援するため、

多面的機能支払交付金 1億3,980万円 を計上しました。

力強い産業の育成・雇用の確保については、

地域おこし協力隊を活用し、滝川クラフトビール普及拡大及び新規就農支援対策を図るため、

滝川クラフトビール普及拡大事業費 350万円

新規就農支援対策事業費 90万円

起業や事業者の新たな取り組みなどを支援し、地域経済の活性化を図るため、

滝川市産業活性化協議会負担金 320万円

分収造林地や市有林の適切な森林の管理を実施するため、

森林管理事業費 723万円 を計上しました。

次に、「豊かな資源を活かした魅力あふれるまちづくり」についてです。

集客・交流事業の推進については、

地域の優れた観光資源を活かし、観光事業の振興を図るため、

たきかわ観光協会補助金 1,005万円

「総合交流ターミナルたきかわ」が多様な利用者ニーズに応じて魅力のある施設運営を行うため、

総合交流ターミナルたきかわの指定管理代行負担金 300万円 を計上しました。

国際化の推進については、

外国人在住者の生活支援や地域・企業への多文化理解促進を図るため、

外国青年招致事業費 2,275万円 を計上しました。

次に、「機能的な生活基盤の充実したまちづくり」についてです。

コンパクトで機能的な都市の形成については、

市内経済の状況を考慮し、地域経済への波及効果の高い公共事業を実施するため、

普通建設事業費 12億9,574万円

住宅や都市機能増進施設の立地の適正化を推進するため、

立地適正化計画策定事業費 1,200万円

社会情勢の変化を踏まえた都市づくりを推進するため、

都市計画マスタープラン改定事業費 390万円

道路照明をLED灯へ更新するため、

道路照明LED化事業費 1,480万円

町内会などが管理している街路灯のLED灯への切り替えを促進し、老朽化した自立柱を撤去するため、

街路灯設置費補助金 1,164万円 を計上しました。

賑わいのある中心市街地の活性化については、

出店者の初期投資を軽減することで、空き店舗の流動化を促進するため、

店舗リノベーション支援事業補助金 170万円 を計上しました。

住宅ストックの適正管理については、

既存住宅ストックの有効活用により子育て世帯を支援するため、

住宅住み替え支援事業補助金 922万円 を計上しました。

次に、「誰もが住みよい安全安心なまちづくり」についてです。

市内公共交通の充実については、

市内公共交通の充実を図るため、

中空知地域公共交通計画策定事業費 170万円

安心して暮らせる保健・医療環境の充実については、

重度心身障がい者医療費の助成の拡大を図るため、

重度心身障がい者医療費助成拡大事業費 365万円

認知症予防を兼ねた脳ドック費用の一部を助成するため、

脳ドック費用助成事業費 278万円 を計上しました。

災害に強いまちづくりについては、

特殊詐欺や不審者など地域の犯罪防止のため、

防犯カメラ設置事業費 58万円

歩行者の安全な通行を確保するため、

東第一授業場通り線防護柵改修事業費 1,700万円

近年相次ぐ異常気象による河川氾濫を未然に防ぐため、

緊急浚渫推進事業費 2,500万円

安全で安心な消防体制の充実を図るため、

高規格救急車更新事業負担金 120万円

災害時に必要な備蓄品を確保し、避難所の運営を行うため、

備蓄品購入費・避難所等経費 320万円 を計上しました。

次に、「未来へはばたく子どもたちを育むまちづくり」についてです。

滝川市で教育を受けさせたいと思われる環境づくりについては、

ICT教育のさらなる充実を図るため、

1人1台端末授業支援ソフト導入事業費 177万円

児童生徒の通学支援を図るとともに、通学時の安全を確保するため、

スクールバス運行事業費 5,456万円

江陵中学校と江部乙中学校の統合後の部活動への通学支援のため、

中学校統合の部活動用通学支援事業費 48万円

安全で安定した学校給食を提供するため、

学校給食調理業務等民間委託事業費 1億2,362万円

安心して快適な学校環境整備のため、

小中学校机椅子整備事業費 2,907万円

就学機会の拡大と併せて地域人材の定着などを目指すため、

國學院大學北海道短期大学部連携事業補助金 150万円

國學院大學北海道短期大学部修学奨励金 1,300万円 を計上しました。

滝川市で子育てしたいと思われる環境づくりについては、

子育て世帯の経済的支援及び子育て相談などの充実を図るため、

うまれてくれてありがとう！健やか赤ちゃん支援事業費 600万円

新生児の聴覚障がいを早期に発見するため、

新生児聴覚検査費用助成事業費 171万円

非課税世帯の小学生の通院に対して、初診時一部負担金を除く医療費全額を助成するため、

子ども医療費助成事業費 137万円

不妊・不育症の治療費用の助成により少子化対策の推進を図るため、

不妊治療支援事業費 200万円

安心して妊娠・出産できる環境を確保するため、

妊婦健康診査支援事業費 1,941万円 を計上しました。

次に、「市民が活躍するまちづくり」についてです。

市民が生きがいを持って活躍する地域づくりについては、

文化センター閉館に伴う費用及び文化センターの代替施設の整備などによる文化芸術振興を図るため、

(仮称)滝川市民交流プラザ開設・運営管理事業費 3,505万円

空知管内公共ホール等使用料助成事業費 300万円

江部乙地域におけるコミュニティ活動の拠点として充実を図るため、

農村環境改善センター運営委員会補助金 20万円

市民の健康増進を目的に、老朽化した滝の川のテニスコートを改修するため、

滝の川公園テニスコート改修事業費 1億1,972万円

美術自然史館の企画展示を行うため、

企画展事業費 59万円 を計上しました。

次に、「効率的な行政運営によるまちづくり」についてです。

情報化の推進については、

自治体デジタルトランスフォーメーションの取り組みを進めるため、

自治体DX推進事業費 1,481万円 を計上しました。

新型コロナウイルス感染症対策費については、

新型コロナウイルス感染症対策として、機動的に予算を執行できるようにするため、

予備費 2,000万円 を計上しました。

道路台帳電子化については、

既存の道路台帳を電子化し、道路管理業務の効率化を図るため、

道路台帳電子化費用 530万円 を計上しました。

公共施設の一元管理については、

滝川市公共施設マネジメント計画に基づき、持続可能な公共施設運営を図るため、

公共施設修繕事業費 1億6,671万円 を計上しました。

第三セクターの経営健全化については、

第三セクターの経営改善を促進するとともに、安定的な経営を支援するため、

滝川振興公社貸付金 6億4,500万円 を計上しました。

財政健全化の推進については、

滝川市立病院経営改善計画に基づき市と市立病院が一体となって取り組みを進めるため、

滝川市立病院経営改善計画実施支援事業費 2,077万円 を計上しました。

次に、これらに見合う令和4年度一般会計歳入の主なものについてです。

市税について、個人市民税、法人市民税ともに新型コロナウイルス感染症の影響が一定程度持ち直すと予測し増額を見込みました

固定資産税については、新型コロナウイルス感染症の影響により事業収入が減少した場合の軽減措置が終了することから増額を見込みました。

軽自動車税については、車両台数は減少が予想されますが、初年度登録から13年経過し重課となる車両が増えることから増額を見込みました。

市たばこ税については、税率改正の影響を考慮し増額を見込みました。

収納率については、現年度分98.1%、滞納繰越分9.1%、合わせて88.5%を確保する予算としたところ、市税全体では、

対前年2億5,965万円増の 42億7,577万円

地方交付税については、普通交付税、特別交付税を合わせて、

対前年7億1,087万円増の 70億7,339万円

ふるさと納税による寄付金については、令和3年度決算見込みを踏まえて、

対前年2億円増の 15億円

その他の歳入としまして、

国庫支出金 29億5,924万円

道支出金 12億7,807万円

市債 7億2,076万円 を計上しました。

基金繰入金については、対前年2億4,186万円減の2億円を計上しております。

以上、令和4年度の各会計予算案の大綱について、申し上げました。

厳しい財政運営の中にありますが、予算計上に当たっては、継続事業に一定の配慮を行ったほか、将来にわたり市民の皆様が安心して暮らせるまちの実現に向けた取り組みに十分配慮したところです。

市民の皆様、市議会議員の皆様のご理解とご協力を心からお願い申し上げ、慎重なるご審議と適切なるご決定をいただきますよう重ねてお願い申し上げます。